



楽器の重なり合う音色に感動

～青少年のための芸術鑑賞事業「器楽・音楽の旅」

■青少年のための芸術鑑賞事業「器楽・音楽の旅」が6月7日、立神小学校体育館で行われ、全校児童が鑑賞しました。

出演したのは、オーケストラの鹿児島交響楽団と日本の伝統楽器等を演奏する鹿児島県管楽会等の2団体。一流の奏者が奏でる心地よい音色に児童らは引き込まれているようでした。

河野裕貴くん(5年)は「バイオリンの音色がとてもきれいだ。知らなかった楽器の響きに感動した」と話してくれました。



JAL機内誌にかつお節特集

～JAL機内誌「スカイワード」

■JALの機内誌「スカイワード」の7月号に本市のかつお節が「鹿児島 日本の食の原点、鰹節の故郷へ。」というタイトルで11ページにわたって特集されています。

取材班が4日間にわたり鰹節工場や水揚げの風景などを取材、私たちが気付かなかったようなかつお節の魅力を伝えています。市民ホールに置いてありますので、ぜひご覧ください。



スカイワード7月号表紙



観光ボランティアガイド「花瀬川クラブ」のみなさん



●投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp

過去最多1,530通の応募

～枕崎ふえん鰹スタンプラリー抽選会

■3月1日から5月31日までの期間で開催された「枕崎ふえん鰹スタンプラリー」の抽選会が6月21日、漁村センターで行われました。

4回目となる今回は、過去最多となる1,530通の応募がありました。このうち半数以上は県外からの応募で、九州新幹線全線開業の効果もあり、福岡や関西圏からの応募が多く見られました。

抽選会には枕崎の名産品10品目51点が用意され、実行委員やブエンマンによって当選ハガキが次々と引かれていきました。当選結果はスタンプラリーホームページで見るができます。

<http://stamp.makurazaki.net/>



100歳おめでとう ございます

～加治ミキさん(東本町)

■加治ミキさんが5月28日、めでたく100歳の誕生日を迎えられ、市と市社会福祉

協議会から花束と祝い金が贈られました。加治さんは趣味が多彩で、花や野菜づくりのほか、デイサービスに行くころは、演歌を歌い踊るのが大好きだったそうです。

これからも元気で長生きしてください。



We LOVE MAKURAZAKI

本場の証「枕崎鰹節」マーク商標登録

～「枕崎鰹節」マークを商標登録

■枕崎水産加工業協同組合の「枕崎鰹節」マークが5月13日付で特許庁の商標登録認定を受けました。同組合では昨年、「枕崎鰹節」を地域団体商標登録しています。今回の認定を受け、同組合の大石克彦品質規格委員長らが6月14日、市長に報告するため市役所を訪れました。

大石委員長は「ひと目で枕崎鰹節とわかるインパクトのあるマークができた。このマークを活用して枕崎鰹節を全国的にPRしていきたい」と話していました。

同組合では、このマークの入ったポロシャツ(1,890円)、Tシャツ(1,365円)、ステッカー(A4シート210円)を事務所販売しています。

◎枕崎水産加工業協同組合
TEL72-3331



「枕崎鰹節」マーク



水道関係団体が連携 災害に備え訓練

～市水道課災害応急活動訓練

■市水道課災害応急活動訓練が6月7日に行われ、水道課や市水道工事業協会などから52名が参加しました。この訓練は、昨年、市と市水道工事業協会とで締結した「災害時における水道の応急活動に関する協定」に基づき実施したものです。

超大型台風が本市に接近、集中豪雨で木場配水池の水位が異常低下、周辺地域で断水が発生したことを想定し、配水管の洗管作業や応急給水、広報活動などの訓練を行いました。



小学生力士の好取組に大声援

～第21回黒潮すもう大会

■黒潮すもう大会が6月4日、駒場公園相撲場で行われ、市内各小から4年生以上の代表約90人が出場しました。

出場者はこの日のために、相撲連盟の指導のもと相撲教室で学んだ礼儀作法で堂々と土俵に登場し、熱戦を展開しました。好取組の連続に、観客席からは大歓声が巻き起こっていました。結果は次とおり。

◎団体 【5年生】①枕崎小学校②桜山小学校③立神小学校【6年生】①枕崎小学校A②枕崎小学校B③立神小学校◎個人 【4年生】①松野下尚央(立神小)②吉嶺賢洋(立神小)③山口輝龍(枕崎小)【5年生】①宮路隆聖(枕崎小)②中原聖吾(枕崎小)③下山開(別府小)【6年生】①中村聡志(枕崎小)②安田侑(枕崎小)③飯島隆汰(枕崎小)



小・中学校給食に手作りさつま揚げ

～手作り鹿水高さつま揚げの日

■鹿児島水産高校の生徒が実習で作ったさつま揚げを市内の小・中学校の給食に提供する「手作り鹿水高さつま揚げの日」が6月21日、22日に行われました。

22日は水産高校の生徒が各中学校に出向き、生徒らにさつま揚げの原料となる魚や作り方などを説明したあと、交流給食を行いました。

このうち、母校の立神中学校を訪れた岩尾拓弥くん(3年・写真左)は「おいしそうに食べている姿を見てうれしかった」と話していました。また、上村侑摩くん(立神中3年)は「ふわふわしている中にもかみごたえがありおいしかった」と話してくれました。